

## 今後どう変わるの？

**A 全ての公共施設などについて、総合的かつ計画的な管理を推進していきます。**

これまでの公共施設は「建てる」ことが目的となっていました。これからは人口と財政状況に見合った適正な規模と配置で新設・統廃合などを行い、計画の目標達成に向けて進めていきます。

今後の主な動きは、次のとおりです。

- 新設** 防災拠点センター、<sup>かき</sup>金桁温泉、松橋中学校体育館、災害公営住宅
- 統廃合** 給食センター、不知火小学校
- 改修** 市役所本庁舎
- 民営化** 不知火保育園
- 解体** 三角老人福祉センター、公民館（ラポートを除く）

## 新設 防災拠点センター



詳しい内容は、ホームページで公開しています



## 残す施設や、新しく建てる施設を考えるのに基準はあるの？

**A 基準として「宇城市公共施設等総合管理計画」を定めています。**

市では、平成26年度に「公共施設の見直し方針」を策定し、保育園の民営化、図書館の機能集約などを行ってきました。

その後、平成27年9月には道路や橋なども対象とした「宇城市公共施設等総合管理計画」としてまとめましたが、熊本地震や人口減少見込みなど、状況も大きく変わったため、今年6月に改訂版を策定しました。

## 「宇城市公共施設等総合管理計画」って、何が書かれているの？

**A 今後の公共施設の維持管理や更新の方針について具体的に示しています。**

3つの柱「①質」「②量」「③コスト」を基軸とした目標を立てています。「建築系公共施設」の数値目標は、次のとおりです。

- ①質 築20年未満の建物の目標耐用年数を80年とする（長寿命化）
- ②量 総面積を40年間で40%縮減する
- ③コスト 40年間で40%縮減する

今後の施設の耐震化整備や長寿命化の推進、また計画推進体制の構築など目標達成に向けて取り組むため、これからの公共施設の在り方を具体化しています。

## たくさんの施設があるけど維持できるの？

**A 人口減少を見据えて、どれを残し何を新しくするかを考える必要があります。**

宇城市の人口は今後40年で、今の6万人から3万5千人まで約40%減少すると推計されています。仮に、現状のまま改修や更新をしていくとすると、40年間で次の金額がかかると試算されています。

| 公共施設の種類 | 年額   | 40年の合計  |
|---------|------|---------|
| 建築系公共施設 | 29億円 | 1,165億円 |
| 土木系公共施設 | 33億円 | 1,335億円 |
| 合計      | 62億円 | 2,500億円 |

今後の宇城市にはどのくらいの施設が必要なのかを考えていく必要があります。

### 1 建築系公共施設



### 2 土木系公共施設



### 3 公有地



## 市役所のこともっと知ってもらおう！

市役所ではいろんな仕事をしていますが、市民のみなさんの中には、市がどんなことをしているのか知らない人も多いと思います。

そこで、市のことをもっと知っていただき、身近に感じていただけるためのコーナーを連載することになりました。

第1回目のテーマは

### 宇城市の公共施設について

です。

問 市長政策室 行政経営係  
☎(32) 1803

## 宇城市の公共施設はどんなものがあるの？

**A 市の公共施設には3つの種類があります。**

種類とその内容は、次のとおりです。

- 1 **建築系公共施設**  
市役所や学校、公民館などの建物  
施設数226 総延べ床面積276,403㎡  
(うち学校が35.9%、市営住宅21.5%)
- 2 **土木系公共施設**  
道路、橋、漁港などのインフラ施設  
主な内容 市道4,809,676㎡  
橋40,191㎡ 上下水道施設14,061㎡
- 3 **公有地**  
公園、グラウンド、山林などの土地  
総面積1,767,401㎡